

ベトナムの社会とことば

大阪大学大学院言語文化研究科教授

清水政明

清水政明（しみず まさあき）

1967年生まれ。大阪外国語大学外国語学部タイ・ベトナム語学科（ベトナム語専攻）卒業。京都大学大学院人間・環境学研究科研究指導認定退学。京都大学助手，首都大学東京准教授などを経て，現在大阪大学大学院言語文化研究科教授。専門は，ベトナム語音韻史。特に字喃（チュノム）資料を用いた上古ベトナム語の研究に従事。著書に『世界の言語シリーズ4 ベトナム語』（大阪大学出版会）他。

目次

- 0. はじめに
- 1. 伝統的秩序とことば
- 2. 南北ベトナムとことば
- 3. おわりに

0. はじめに

1986年 *Dôi Mới* (刷新) 政策施行以来海外との経済交流に門戸が開かれ，特に昨今の日中関係の余波を受け日系企業が工場をベトナムにシフトする等，日越関係は今後ますます発展する兆しが強まってきた。一方，ベトナム人研修生の増加と日越経済連携協定（J V E P A）によるベトナム人看護師・介護福祉士候補者の受け入れ実施に際し，様々な場面でベトナム語母語話者との接触，ベトナム語母語話者への日本語教育等の機会が増えてきた。

以上の背景の下，本稿ではベトナム社会主義共和国で最も多くの話者を擁するベトナム語¹について，その使用される社会と言語使用の実態を具体的に見てゆきたいと思う。

0-1. 類型的特点

まず，ベトナム語の類型的特点として，語形変化がほとんど見られない「孤立型言語」であること，「膠着語」の一種とされる日本語とは根本的に異なる点を指摘する。

(1)	wataŋi-wa	hon-o	jon-de	iru.	(J)
	I-TOP	book-ACC	read-TE	iru-PRES	

¹ 系統的には，オーストロアジア語族モン・クメール語派ベト・ムオン諸語に属する。ベトナム社会主義共和国には公的に53の少数民族と人口の約85%を占めるベト（キン）族がいるとされている。2013年改正の憲法によると，個々の少数民族独自の言語と多数民族のベトナム語の間に階層が付与され，ベトナム語が初めて「国家言語（*ngôn ngữ quốc gia*: National Language）」と位置づけられた。

(2)	Tôi	đang	đọc	sách.	(V)
	I	PROG	read	book	

またベトナム語はほとんどの場合一つの音節が何らかの意味を持つのに対し、日本語は多くの場合、複数の音節が一つの概念を表す。付録1及び0-3.に示すように、ベトナム語の音節構造は日本語の音節構造よりも複雑で、且つその構成要素の一つに中国語と同様「声調」が含まれる。

(3)	「さかな」	/ s a k a n a /	(J)
		$\begin{array}{ccccccc} & \downarrow & & \downarrow & & \downarrow & \\ & C & V & C & V & C & V \\ & \downarrow & & \downarrow & & \downarrow & \\ & \sigma & & \sigma & & \sigma & \end{array}$	

(4)	‘cá’	/ k a : ⁵ /	(V)
		$\begin{array}{c} \downarrow \\ C V \\ \downarrow \\ \sigma \end{array}$	

日本人学習者にとってはその音節構造の複雑さゆえに、ベトナム語がしばしば発音の習得が困難な言語とされる。また、ベトナム語の音節は前後の環境によって影響を受ける度合いが極めて低いので (Han et al. 1974), しばしばベトナム語話者の日本語発音に強い「癖」が感じられる。

0-2. 漢語起源語彙

漢武帝の時代から 10 世紀に亘り中国に支配され、独立後も中国式国家建設に努めたベトナムでは、日本語同様多数の漢語を借用し現在も日常語に使用している (川本 2000)。以下、2013 年に改正されたばかりのベトナム社会主義共和国憲法「前文」の第一文と、ここに見える漢語 (斜体字) の漢字を示す。

(5)	Trải qua mấy nghìn năm <i>lịch sử</i> , <i>Nhân dân Việt Nam</i> <i>lao động cần cù</i> , <i>sáng tạo</i> , <i>đấu tranh</i>	[歴史] [人民] [越南] [労働] [勤劬] [創造] [闘争]
	<i>anh dũng</i> để dựng nước và giữ nước, đã hun đúc nên <i>truyền thống yêu nước</i> , <i>đoàn kết</i> , <i>nhân nghĩa</i> ,	[英勇] [伝統] [団結] [仁義]
	<i>kiên cường</i> , <i>bất khuất</i> và xây dựng nên nền <i>văn hiến Việt Nam</i> .	[堅強] [不屈] [文献] [越南]

(訳) 何千年もの歴史を経て、ベトナム人民は国を築き維持すべく、勤勉に労働し、創造し、勇敢に戦った。そして愛国、団結、仁義、強靱、不屈の伝統を作り上げ、ベトナム文

明を築き上げた。

これら中国語由来の語彙に加えて、近代日本で作られた翻訳語、そして日本製の訓読み漢字語までもがベトナム漢字音にしたがって読まれ口語に浸透している。

(6)	漢字	J. 発音	V. 正書法	V. 発音
	[社会]	/ʃakai/	<i>xã hội</i>	/sa: ⁴ ho:i ⁶ /
	[権利]	/kenri/	<i>quyền lợi</i>	/k ^w ien ² lɪ:i ⁶ /
	[自由]	/dʒiju:/	<i>tự do</i>	/tu: ⁶ zɔ: ¹ /
(7)	[手続]	/tetsuzuki/	<i>thủ tục</i>	/th ^u : ³ tuk ^p ⁸ /
	[立場]	/tatʃiba/	<i>lập trường</i>	/lɒp ⁸ tʃuɔŋ ² /
	[場合]	/ba:i/	<i>trường hợp</i>	/tʃuɔŋ ² hɜ:p ⁸ /

因みに、日本語とベトナム語で同一起源の漢語でも用法（品詞）が異なる場合があり、注意を要する（Shimizu et al. 2008）。

(8)	私は	ベトナムの	歴史に	とても	関心が	ある。
	I-TOP	Vietnamese-GEN	history-DAT	very	interest-NOM	exist
(9)	Tôi	rất	<i>quan tâm</i>	đến	lịch sử	Việt Nam.
	I	very	interested	to	history	Vietnamese

「関心」という漢語は日本語では名詞として使用されるのに対し(8), ベトナム語では「動詞」に分類される(9)。しばしばベトナム人日本語学習者が「～に関心します」と誤用する所以である。

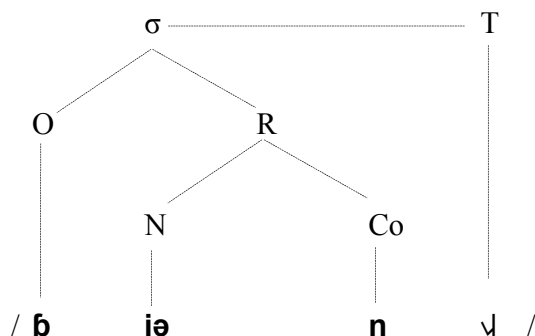
0-3. 韻文の特徴

ベトナム語はしばしば日本語より「音楽的な言語」と言われるが、その理由の一つに豊富な声調の体系がある。また、豊かな韻文の伝統もその音楽性に彩りを加えている。

日本語には「五七調」という律文があるが、多音節の語が大多数を占め（標準語には）声調がないという事情から、中国語のように音節を更に細かく分解し、その一部を繰り返したり（押韻）調子を整えたりする（平仄）技巧を援用することは不可能である。

一方、ベトナム語は中国語と同じく声調を有し、音節構造が以下のように中国語と同様であることから、それらの技巧をそのまま利用して韻文が作られる。まずはその音節の構造を見る。

(10)



σ (=syllable)	音節
T(one)	声調
O(nset)	頭子音
R(ime)	韻
N(ucleus)	主母音
Co(da)	末子音

「海」

一つの音節はまず、頭子音、韻に分けられ、それら全体を覆う形で声調が存在する。その声調の数は、開音節及び末子音が鼻音・半母音の音節で6種、末子音が閉鎖音の音節で2種区別される [付録2]。

ベトナム語の韻文は、(10)の図のRを共有する音節がしかるべき箇所に配列され(押韻)、Tの1, 2調(平)及びそれ以外の声調(仄) [付録1]の2グループに分けられ、しかるべき箇所に配列される(平仄)。以下の例では、□で囲った音節に平仄が適用され、斜体の音節が押韻されている。

(11) 「六八体」

- | | | | | | | | |
|----------|-------------|-------|-------------|-------|------------|------|-------------|
| 1. Trăm | năm | trong | cõi | người | ta | | |
| | 平 | | 仄 | | 平 | | |
| 2. Chũ | tài | chũ | mệnh | khéo | là | ghét | nhau |
| | 平 | | 仄 | | 平 | | 平 |
| 3. Trái | qua | một | cuộc | bẻ | dâu | | |
| | 平 | | 仄 | | 平 | | |
| 4. Những | điều | trông | thấy | mà | dau | đón | lòng |
| | 平 | | 仄 | | 平 | | 平 |

(訳) 1. 人生百年の中で

2. 才(才能)と命(運命)は実に相性が悪いもの

3. 一夜にして海が桑の畑と化してしまう人生を経るに

4. 目にするもの全てに心が痛むことだ

『金雲翹』阮攸(1766-1820)

(12) 「双七六八体」

- | | | | | | | |
|---------|------|------------|-----|------------|-----|------------|
| 1. Thuở | trời | đất | nổi | con | gió | bụi |
| | | 仄 | | 平 | | 仄 |

2.	Khách	má	hông	nhieu	nôi	truân	chiên	
			平		仄		平	
3.	Xanh	kia	thăm	thăm	tàng	trên		
		平		仄		平		
4.	Vi	ai	gây	dựng	cho	nên	nỗi	ngày
		平		仄		平		平

(訳) 1. 天地が風塵を巻き起こす時

2. 紅顔の客人は苦悩に苦しむもの

3. 天上の深き青さよ

4. 一体誰が為にこの苦悩が生じるのか 『^{チンフゴムクック}征婦吟曲』段氏点(1705-1748)

6・8音節が繰り返される六八体の例(11)と、7・7・6・8音節が繰り返される双七六八体の例(12)である。また、日常的に口にされる諺(俗語)にもしばしば上と同様の押韻と平仄のルールが見られる。

(13)	Kiến	đen	tha	trúng	lên	cao ,		
		平		仄		平		
	Thé	hào	cũng	có	mưa	rào	rất	to .
		平		仄		平		平

(訳) 黒蟻が高いところに卵を運ぶと、必ず大きな夕立がある。

(14)	Con	oi	nhớ	lầy	lời	cha		
		平		仄		平		
	Mông	nằm	tháng	chín	thật	là	bão	roi .
		平		仄		平		平
	Bao	giờ	cho	đến	tháng	mười		
		平		仄		平		
	Thì	con	ra	lộng	vào	khởi	mặc	lòng .
		平		仄		平		平

(訳) 子よ、父の言葉を覚えておきなさい。9月5日には嵐が降ってくるもの。10月になれば、浅瀬にいよいよ沖に出ようが構いやしない。

これら俗語は、現代でも主に農村での生活の智慧として伝承され、本来テキストとして書き残されることのない口承文学の一部として存在している。ベトナム語が音楽的な言語

と言われる所以の一端がここにある。

1. 伝統的秩序とことば

1-1. 待遇表現

儒教的秩序を重んじるベトナム社会では、言語使用においても日本語と同様、上下の人間関係に敏感である。ただ、日本語の待遇表現（敬語体系）とベトナム語における待遇表現には多々異なる部分がある。まず、ベトナム語に見られる待遇表現を形式面から分類してみる。

まず、呼称詞²。日本語の待遇表現の多くが文末形式に現れるとすれば、ベトナム語は多くの場合いわゆる呼称詞にそれが現れる。つまり自称・対称・他称の呼称詞³としてどの語彙を使うかによって聞き手・第三者との上下・親疎関係が明確に表現される。

- (15) *Em là sinh viên Việt Nam.*
弟/妹 COP 学生 ベトナム
(訳) 私はベトナム人学生です。[先生に対して]

- (16) *Cháu đi đâu về?*
甥/姪 行く どこ 帰る
(訳) どこへ行ってきたの？ [甥/姪ほどの年頃の相手に対して]

また、会話の中で文の要素として自称・他称の呼称詞が生起しない場合、文末助詞に呼称詞を添えて文を終える場合がしばしばある。

- (17) *Cái này rẻ lắm anh ạ.*
CL この 安い とても 兄 POL
(訳) これとっても安いですよ。[年上/成年の男性に対して]

- (18) *Bao nhiêu tiền một cân hờ chị?*
いくら お金 1 キロ QUES 姉
(訳) 1キロいくらですか。[年上/成年の女性に対して]

続いて、文末助詞。まず、ベトナム語における文の意味的構造を以下に示す。これはあくまで意味的構造を示すものであり、統語構造として以下の順番で要素が配列されるわけ

² 会話の中で自分、聞き手、第三者を呼ぶ語をここでは「呼称詞」と呼ぶ。その中には名前、親族名詞、親族呼称、職業名詞、人称代名詞が含まれる。

³ 会話の中で、自分を呼ぶ呼称詞を「自称」、聞き手を呼ぶ場合を「対称」、第三者を呼ぶ場合を「他称」の呼称詞と呼ぶこととする。

ではない。

(19)

命 題

 + モダリティー要素

図中の「命題」は文の意味内容の中で客観的な出来事や事柄を表した部分、「モダリティー要素」は命題に対する話し手の発話・伝達の際の態度のあり方を表した部分である。例えば以下の文を見てみよう。

(20)

Ông	là	ai	<i>đáy</i>	<i>a?</i>
祖父	COP	誰	PRSL	POL

(訳) お宅様はどなたですか。[熟年男性に対して]

(20)において斜体の *đáy* と *a* がモダリティー要素であり、いずれも文末助詞の一種である。それぞれ「聞き手への関心」と「聞き手への敬意」を表し、後者が「敬語」機能を果たす要素ということになる。

文末助詞としばしば共起するのが文頭に置かれる間投詞 *da* である。敬意を表すべき相手に何かを問われた場合、あるいは話しかけられて応答する場合にこの要素を文頭に置き、文末を上述の助詞で締めるとするのが一般的である。また、単に敬意を表すべき相手に何かを言う時にも文頭に置く。

(21) *Da,* *cháu* *ăn* *rồi* *a.*
INTR 甥/姪 食べる PRFT POL

(訳) はい、もう食べました。

[挨拶としておじ/おば程の年齢差の人に食事は済んだかと尋ねられて答える場合]

次いで、種々の動詞の使用、形式的に日本語の文末表現に対応する形式である。ここで用いられる動詞は、例えば *xin* (請う), *mời* (招く), *đề nghị* (依頼する), *nhờ* (頼む), *làm ơn* (恩を為す⁴), *có thể ... được* (できる), *cho* (与える), *kính* (敬う) 等が挙げられる。また、これらを組み合わせて使う場合もしばしば見られる。

(22) *Tôi* *xin* *bắt đầu* *làm* *việc.*
私 請う 始める する 仕事

(訳) 始めさせていただきます。

⁴ この動詞のみ単独で用いられることはなく「～てください」の意味で用いられるが、ここでは逐語訳を示しておく。

(23) *Mời* các anh *dùng* cơm.

招く 各 兄 召し上がる ご飯

(訳) どうぞお召し上がり下さい。

(24) *Đề nghị* mọi người *phát biểu* kiến.

依頼する 全ての 人 発表する 意見

(訳) 皆さん意見をお願いします。

(25) *Nhờ* em *lấy giúp* cho anh.

頼む 弟/妹 取る 助ける 与える 兄

(訳) 取ってちょうだい。

(26) Anh *làm ơn* cho em *hỏi*.

兄 下さい 許す 弟/妹 尋ねる

(訳) お尋ね致します。(←尋ねさせて下さい。)

(27) Chị *có thể* gửi cho nó *được* không?

姉 できる 送る 与える あの子 できる NEG

(訳) あの子に送ってもらえますか。(←あの子に送ることができますか。)

(28) *Kính* chào *quý vị*.

敬う 挨拶する 貴殿

(訳) 皆様、こんにちは。(←皆様に謹んでご挨拶いたします。)

次に、動詞そのものに敬意が含意される敬意動詞を挙げる。(29)の動詞などがこれに相当する。

(29) *dùng* 召し上がる *Mời* anh *dùng* cơm.

招く 兄 ご飯

(訳) どうぞお召し上がり下さい。

xoi 召し上がる *Mời* bác *xoi* nước.

招く 伯父/母 水

(訳) お茶をどうぞ。

biểu 差し上げる *Kính* *biểu* thầy.

敬う 先生

(訳) 先生に謹呈致します。

thưa 申し上げる *Dạ, thưa* cô.

INTR 叔母

(訳) 先生 (に申し上げます)。

xin 頂戴する Dạ, *xin* anh.

INTR 兄

(訳) 頂きます。

最後に、名詞への接辞である。日本語の「貴～」に相当する形式 *quý*～が挙げられる。

(30) Xin cảm ơn sự hợp tác của *quý* khách

請う 感謝する 事 協力する の 貴 客

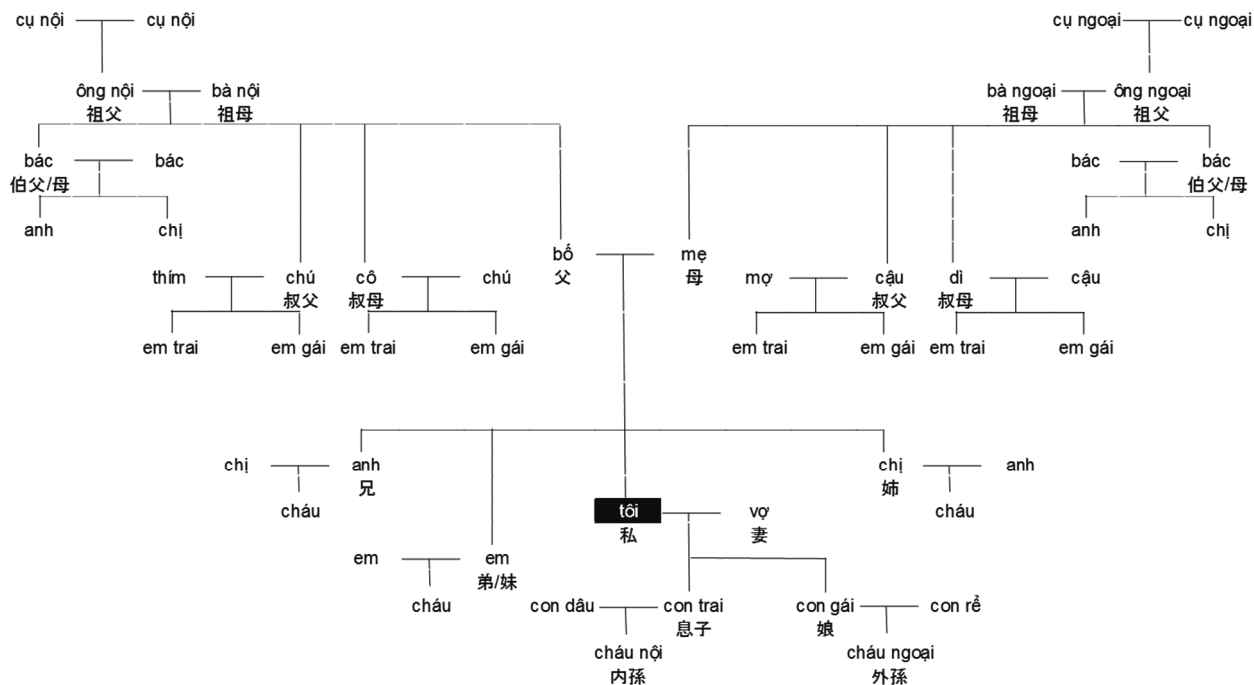
(訳) お客様，ご協力有難うございます。

1-2. 呼称詞

ベトナム語の待遇表現で特に重要な要素は呼称詞である。呼称詞として用いられる語彙は、人名、親族名詞、親族呼称、職業名詞、人称代名詞等である。

まず、呼称詞としてしばしば転用される親族名詞（北部方言）の体系を以下に示す。

(31a) 北部方言の親族名詞



白抜きの *tôi* (私) を中心に、兄弟、伯父/母、叔父/母とその配偶者それぞれに多様な語彙が見られるのがわかる。また、その中にも多く漢語由来の語彙が含まれている。

(31b)	<i>ông</i>	[翁]	祖父
	<i>bà</i>	[婆]	祖母
	<i>bác</i>	cf. <i>bá</i> [伯]	(父方・母方の) 伯父・伯母
	<i>cô</i>	[姑]	(父方の) 叔母
	<i>thím</i>	cf. <i>thâm</i> [嬸]	(父方の) 叔父の妻
	<i>cậu</i>	cf. <i>cữu</i> [舅]	(母方の) 叔父
	<i>đì</i>	cf. <i>đì</i> [姨]	(母方の) 叔母

まず、これらの親族名詞はそのまま個々の親族が互いを呼称する際の親族呼称として使用される。そしてベトナム語に特徴的なのは、これらの親族呼称が家族以外の話者の属する社会構成員に対しても転用されるという点である。例えば、以下の例を見てみよう。

(32)	a. <i>Đạo này</i>	<i>cháu</i>	<i>thế nào,</i>	<i>có</i>	<i>khoẻ</i>	<i>không?</i>
	この頃	甥	どの様	ある	元気な	NEG
	(訳)この頃どう、元気かい。(←甥は元気かい?)					

	b. <i>Đạ,</i>	<i>cháu</i>	<i>khoẻ,</i>	<i>cảm ơn</i>	<i>bác</i>	a.
	INTR	甥	元気な	感謝する	伯父	POL
	(訳)有難うございます。元気です。(←甥は元気です。伯父さん有難うございます。)					

(32)a.の話者と b.の話者に血縁関係はないが、親しい間柄で、年齢的に a.の話者は b.の話者の父親よりも若干年上で、二人は「甥-伯父」程の年齢差という関係にある。その際、*cháu* (甥/姪), *bác* (伯父/母) の語彙は自称にも対称にも用いられていることがわかる。日常生活でよく耳にするこの種のペアには、例えば以下のようなものが挙げられる。

(33)	<i>anh</i>	(兄)	↔	<i>em</i>	(弟/妹)
	<i>chị</i>	(姉)	↔	<i>em</i>	(弟/妹)
	<i>chú</i>	(叔父)	↔	<i>cháu</i>	(甥/姪)
	<i>cô</i>	(叔母)	↔	<i>cháu</i>	(甥/姪)
	<i>bác</i>	(伯父/母)	↔	<i>cháu</i>	(甥/姪)
	<i>cụ</i>	(曾祖父/母)	↔	<i>con</i>	(子)

次いで、以下の会話を見てみよう。

(34)	a. <i>Cô</i>	<i>oi,</i>	<i>cái</i>	<i>này</i>	<i>bao nhiêu</i>	<i>tiền</i>	<i>hả</i>	<i>cô?</i>
	叔母	INTR	CL	この	いくら	お金	QUES	叔母
	(訳)すみません、これいくらですか。(←叔母さん、これいくらですか?)							

b. Dạ, cho *cháu* xin 10 nghìn ạ
 INTR 与える 姪 頂く 1万 POL
 (訳) 1万ドンです。(←姪に1万ドン下さい。)

(34)で想定される話者は、例えば a.は 60 代男性、b.は 20 代女性で互いにあまり面識がない。二人が親しい関係であれば、60 代男性は b.に対して *cháu* (姪) と呼びかける可能性が高い。しかし、ここで敢えて *cô* (叔母) と呼びかけるのは、「子どもの立場で」相手呼びかけるという習慣によるものである。これもある種の気遣いの表現であり、上からの目線で *bác* (伯父) と自称し相手を *cháu* (姪) と呼ぶことを避け、そこに小さな子どもがいると想定してその子の目線で相手呼び、自分を中立的な呼称詞 *tôi* (私) で自称する訳である。この習慣自体、本来家族内で行われているものが家族以外の社会に転用されたものであり、例えば自分達に子供ができると夫婦同士が「お父さん、お母さん」と呼び合うことに通ずる現象である。

そこで、最後に夫婦間の呼称について見てみたい。最も一般的な呼称法は以下のパターンである。

(35) Bữa cơm trưa của *anh* đây.
 CL 飯 昼 の 兄 PRSL
 (訳) これ、お昼ご飯です。(←兄のお昼ご飯ですよ。[お弁当を手渡しつつ])

Cảm ơn *em*. *Anh* đi vậy nhé.
 感謝する 妹 兄 行く そう ATTN
 (訳) ありがとう。じゃあね。(←妹に感謝するよ。じゃあ兄は行くね。)

つまり、付き合いだして以来結婚後も、呼称法の上で夫婦は「兄一妹」の関係になる。ところが、一旦二人の関係に問題が生じるや、呼称法が一変する。以下は、夫の言動に憤慨する妻の発言である。

(36) Thế *ông* cứ đi đi. *Tôi* ở đây một mình
 そう 祖父 構わず 行く IMPR 私 いる ここ 一人で
 cũng được mà.
 も よい CLM
 (訳) じゃあ行きなさいよ。私は一人残ったって構わないわ。

また、男女平等の機運が高まる中、最近では若者世代で以下の呼称も広く見られる。

- (37) Vợ ơi, chồng báo điều này này.
 妻 INTR 夫 告げる こと この PRSL
 (訳)君, 伝えたいことがあるんだ。(←妻, 夫はこのことを告げるよ。)

呼称詞としては, 以上の親族名詞の他, 職業名詞もしばしば用いられる。

- (38) Thưa thầy, cho em xin tờ nữa được không ạ?
 申し上げる 先生 与える 弟/妹 請う 枚 更に できる NEG POL
 (訳)先生, もう一枚頂けますでしょうか。

一方, 近い間柄同士の場合, 本来の人称代名詞が用いられる。

- (39) Nam ơi, mày cho tao xem vở của mày đi.
 ナム INTR お前 与える 俺 見る ノートの お前 IMPR
 (訳)ナム, お前のノート見せてくれよ。

このような軽卑語はいわゆる人称代名詞として体系を成している。また, 15世紀のベトナム語ではこれらが一般的な人称代名詞として用いられていた (清水 1996)。

(40)

軽卑語	1人称	2人称	3人称
単数	tao	mày	nó
複数	chúng tao	chúng mày	chúng (nó)

因みに, 普通語における人称代名詞専用の語彙としては, 上述の一人称単数 tôi (私) に加えて以下のものがある。

(41)

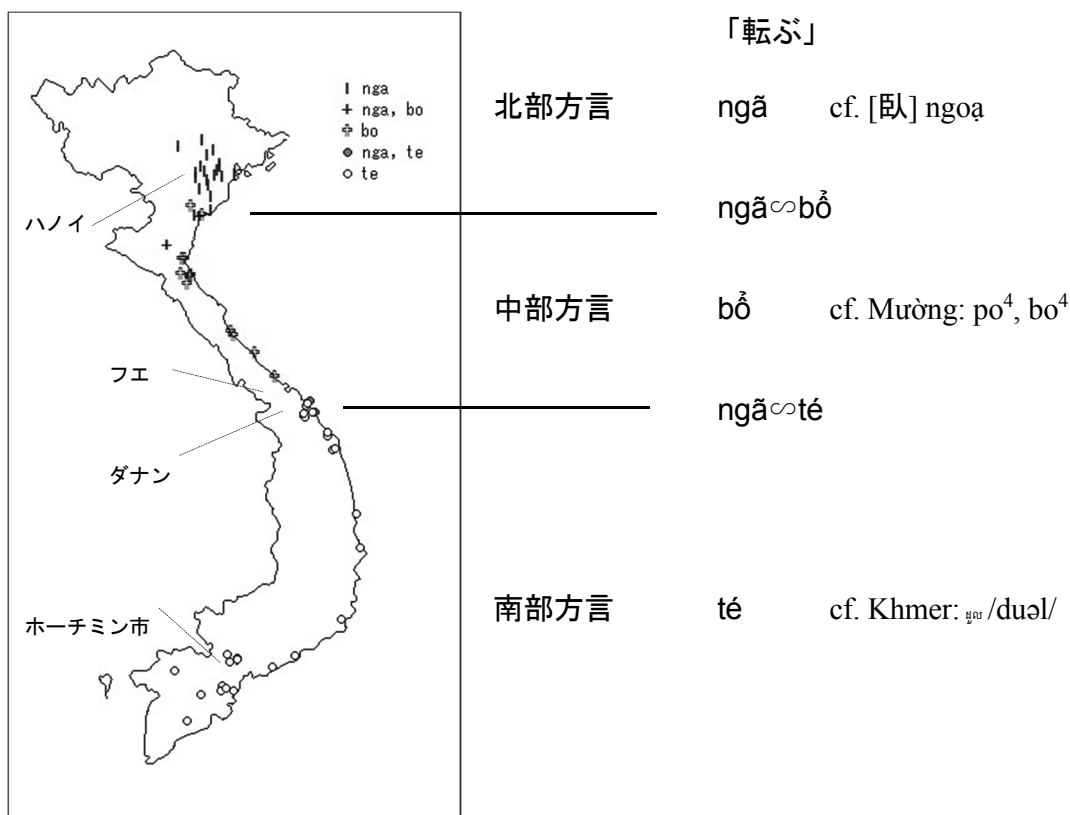
普通語	1人称	3人称
単数	tôi	
複数	chúng tôi (排除形) chúng ta (包括形)	họ

2. 南北ベトナムとことば

2-1. 方言の形成過程

南北に長いS字型の国土を有するベトナムは、その方言も多様である。15世紀以降、急速に領土を南方に拡大したが、その「南進」の担い手となったのは北部および北中部出身者であった(Đặng 1994)。したがって、現代ベトナム語は概ね北、中、南部方言に分かれ、中部方言に古い形が残るといった特徴的な分布となっている。ここでは、まず方言区分の概要とその成立過程を概観した上で、個別の現象について社会言語学的観点から観察する。まず、2-1.の記述は主に2011年9月に行った方言調査に基づく(清水2012)。

(42)



Map 2-1: To fall down

(Kondo 2013 より)

「転ぶ」を現す形式は、北部の *ngã* /ŋa:⁴/, 中部の *bỏ* /bo:³/, 南部の *té* /te:⁵/ の3形式が主である。北/中部の等語線と接する中部の Thanh Hoá 省では *ngã* と *bỏ* の両形式が見え、中/南部方言を分かつ等語線に接する Đà Nẵng 市では、北部形式と南部形式の両方が見える。

まず、北部方言と中部方言の関係について考察する。中部の形式 *bỏ* は、ベトナム語の古形を今に保存するといわれる Mường 語の形式 *po⁴*, *bo⁴* に対応し、北部形式が漢字音 *ngoạ* /ŋʷa:⁶/ との関連性を想起させることから、本来の中部形式に漢語からの借用語である北部形式が被さった結果、現代の北、中部の分布が形成された。

興味深いことは中部方言と南部方言を分かつ等語線に接する Đà Nẵng 市では、中部方言ではなく北部形式と南部形式の両方が見えることである。この分布を解釈する可能性の一

つとして、移動してきた北部方言話者の語彙 *ngã* が先住民であるクメール系民族の語彙（現代クメール語で *ng* /*duəl*/）に取って代われ、それがベトナム語化した形式 *té* が現代も南部で使用されていると考えられる（Kondo 2013）。

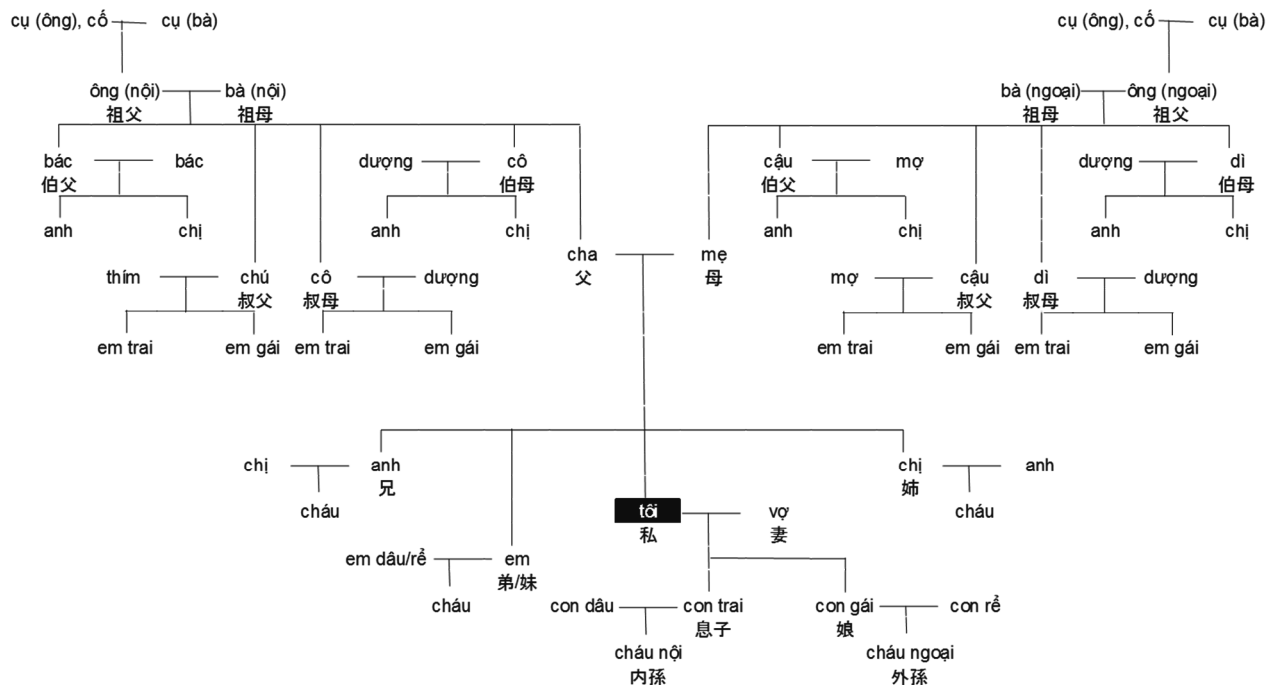
メコンデルタを含む南部の開拓に際しては、北部・北中部出身のベトナム人のみならず、明清交代期の移民（明郷と呼ばれる）が活躍したことが知られている。彼等の多くを占めた中国語潮州方言話者の話す言語が南部方言の形成過程に大きな影響を与えたと考えられている（Shimizu 2014）。

2-2. 南部方言話者から見た北部方言

中部方言に比べ、南北の方言差は互いに理解可能な範囲である。とはいえ、南北間の方言差は歴然としており、特に 1975 年以降の南北間の軋轢は、方言意識の中にも現れている。ここでは、南北間の方言差を観察するに当たり、上述の呼称法の問題にしぼって見ることとする。ここに述べる内容の多くは、Trần (1995) に拠る。

呼称詞の基礎となる親族名詞の体系自体南北で異なるので、以下に南部方言の親族名詞を示す。

(43) 南部方言の親族名詞



北部方言と大きく異なる部分は、伯父/母と叔父/母を示す名詞である。北部方言では両親より上の伯父/母に対しては押し並べて *bác* であったところが、南部方言では、父方の伯父/母に対してのみ *bác* が使われ、それ以外は両親との上下関係にかかわらず、父方のおじ、

おば、母方のおじ・おばとその配偶者がそれぞれ同一の語彙で表現されている。つまり伯父/母と叔父/母の区別があるのは父方の伯父・叔父とその配偶者のみということになる。

以上の親族名詞を利用した南部方言の呼称法にはどのような特徴があるか。Trần (1995)では主に以下の2点が指摘されている。1. 「母方」との関係をより重んじる。2. 「敬意」よりも「親愛」の意の表出を重んじる。以下それぞれについて具体的にみる。

まず母方との関係の重視について、ベトナム史上最初の長期王朝である李朝期(1010～1225)にベトナム社会はそれまでの東南アジア的「双系制的」社会から父系社会に変化を遂げた(桃木 2011)。父系社会において、親族名詞の父方が「内(nội)」母方が「外(ngoại)」と位置づけられることは容易に理解できる。しかし、南部方言の呼称法を見ると、特に母方への親愛の情が以下のような呼称法に見られると言う。

- (44) a. *Tím oi, rửa chén rồi chưa con?*
(人名) INTR 洗う 茶碗 PRFT まだ 子供
(訳) ティムや、もう茶碗は洗い終わったかい。

- b. *Chút xíu nữa ngoài oi!*
少し 更に 母方 INTR
(訳) もう少しだよ、爺ちゃん。

- a. *Ồ, rửa rồi ra đây ngoài biểu.*
INTR 洗う PRFT 出る ここ 母方 告げる
(訳) ああ、洗い終わったらこっちへおいで、話がある。

この会話に現れる *ngoại* という呼称詞は、北部方言 *ông ngoài* (母方の祖父) の *ông* を省略した形である。つまり、南部方言は祖父母を呼ぶ際、父方と母方をはっきりと区別し、父方の祖父母には *nội* [内]、母方の祖父母には *ngoại* [外]のみで呼びかけることがしばしばある。

更にこの呼称法は、北部方言と同様に血縁関係のない人同士にも転用され、そこでは通常の場合 *ngoại* [外]が使われ、相手に対して特にマイナスの態度を表明したい場合にのみ *nội* [内]が使われると言う。

- (45) *Đi đâu dữ vậy bà nội oi!*
行く どこ ひどい そう 祖母 父方 INTR
(訳) そんなに慌ててどこ行くんだよ、婆さん。

この事実は親族内においても母方が父方よりも身近な存在である(あるいは嘗てそうであった)ことの裏返しとも取れる。特に南部では、母方の祖父母に同情するような諺 *Bà*

ngoại thương đại thương dột, Bà nội chẳng vội mà thương. (母方のお婆さんはばかばかしいほど孫を可愛がるが、父方のお婆さんは焦って可愛がることなんてない。)がよく口にされるのもその表れかもしれない。

次いで、「敬意」よりも「親愛」の意の表出を重んじる点について観察する。まず、以下に見る北部方言に一般的な呼称のパターンを見てみよう。

(46) a. *Anh đi đâu đấy? Tôi có chuyện muốn hỏi anh một chút.*
兄 行く どこ PRSL 私 ある 話 したい 尋ねる 兄 少し
(訳)どこへ行くの。ちょっと尋ねたいことがあるんだけど。

b. *Chào bác! Chiều về tôi sẽ sang nhà bác ngay.*
挨拶する 伯父/母 午後 帰る 私 FUT 行く 家 伯父/母 直に
(訳)こんにちは。午後に帰ったらすぐ伯父さんの家に行きますよ。

この会話の話者 a.と b.は実は血縁関係にあり「伯父—甥」の間柄なのだが、b.が既に 50 代、または社会的に高い地位にある人物であれば、(46)のような呼称法が使われる。つまり、b.の社会的立場を鑑みて、a.は通常の *bác—cháu* のパターンを避け、b.自身もそれを自然に受け入れている様子が窺える。一方、南部方言では、同様の状況において通常そのような疎遠な呼称法は避け、*thằng* ~ (～の奴)、*con* ~ (～ちゃん)、*bây* (お前) 等の呼称詞を使うにとどまると言う。

また、南部方言に特徴的な呼称法として、母方の伯母・叔母に対し *má* (母) に序数をつけ、例えば、母の兄弟で長女の伯母に対して *má hai* (二番目のお母さん)、あるいは四女の叔母に対して *má năm* (5番目のお母さん) と呼ぶことがしばしばある。これは元来母方の祖母の姉妹を呼ぶ際、例えば祖母の最年長の姉に対し *ngoại hai* (二番目のお婆ちゃん) と呼ぶこととも平行する現象である。

これ以外に、先生と生徒の関係において北部では生徒に対し *em* (弟/妹) と自・他称するところを南部では *con* (子供) が使われたり、北部では *bác, chú, cô* に対して *cháu* (甥/姪/孫) で自・他称するところで *con* (子供) を使うところを見ても、やはりより近しい関係を重んじる傾向が窺える。

以上のような特徴を、南部方言話者は自らの方言の優れた点として評価する一方、北部方言話者は必ずしもそうではない。

3. おわりに

最後に、ベトナム人日本語学習者の言語そのもの及び習慣を知る上で重要な点として、以上のような文レベルの問題ではなく、談話あるいは会話レベルのある種の特徴がある。それは南北に共通する部分だが、他人にものを依頼する際、はっきり依頼することを極力避ける傾向がある。ベトナムから送られてくる長い電子メールの意図が、結局末尾の段落

の2行であったり、研究室を訪ねてくる学生の目的をうっかり確認し忘れていたりすることがあるが、そこを汲み取ることが教師の力量であると言っても過言ではない。ある意味で、日本の気遣いの文化に通ずる部分でもある。

略号

ACC	対格	NEG	否定
ATTN	注意喚起	NOM	主格
COP	繫詞	POL	丁寧
CL	類別詞	PRES	現在
CLM	主張	PRFT	完了
DAT	与格	PROG	進行
FUT	未来	PRSL	個人的関心
GEN	属格	QUES	疑問
IMPR	命令	-TE	日本語「テ形」
INTR	間投詞	TOP	主題

参考文献

- Đặng Thu (chủ biên). 1994. *Di dân của người Việt từ thế kỷ X đến giữa thế kỷ XIX* (10 世紀～19 世紀前半におけるベトナム人の移民). Trung tâm Nghiên cứu Dân số và Phát triển. Hà Nội.
- Han, Mieko S. & Kim, Kong-On. 1974. Phonetic variation of Vietnamese tones in disyllabic utterances. *Journal of Phonetics*, 2, 223-232.
- KONDO Mika. 2013. *Vietnamese Dialect Maps on Vocabulary*. Asian Geolinguistic Society of Japan. Monograph Series, No.1.
(http://agsj.jimdo.com/app/download/8543895492/Vietnamesedialectmaps_kondo%284%29.pdf?t=1381280435)
- SHIMIZU Masaaki. 2014. *The Distribution of Final Palatals in Vietnamese Dialects*. The 2nd International Conference on Asian Geolinguistics. May 24-25, 2014. Bangkok, Thailand.
- SHIMIZU Masaaki, NGUYEN Thi Thanh Xuan, NGUYEN My Chau, SAKURAI (Yamamoto) Rie, and TOMITA Kenji. 2008. The Role of Chinese Loan Words in the SLA among the L1 Speakers in Confucian Countries. *The 2008 International Conference on Taiwanese Literature Conference Proceedings*. Oct. 18–19, 2008. National Cheng-kung University. Tainan, Taiwan. pp.[8-]1-11.
- Trần Thị Ngọc Lan. 1995. *Phương Ngữ Nam Bộ* (南部方言). Viện Khoa Học Xã Hội tại TP. Hồ Chí Minh. Nxb. Khoa Học Xã Hội. Hà Nội.
- 川本邦衛. 2000. 「ベトナムの漢字文化—伝統と現在」『漢字の潮流』戸川芳郎編. 山川出版社. pp. 112-128.
- 清水政明. 1996. 「漢文＝字喃文対訳『佛説大報父母恩重經』に見る字喃について」『人間・環境学』5. 京都大学大学院人間・環境学研究科. pp. 83-104.
- 清水政明. 2012. 「ベトナム語方言調査報告—Quảng Nam-Đà Nẵng 方言の多様性—」東ユーラシア言語地図プロジェクト研究集会. 2012/3/11. 青山学院大学.
- 桃木至朗. 2011. 『中世大越国家の成立と変容』大阪大学出版会.

付録1 ベトナム語ハノイ方言音韻体系

音節頭子音

	唇音	歯音	歯茎音	硬口蓋音	軟口蓋音	声門音
破裂音	(p)	t		tʃ	k	ʔ
有気		tʰ				
有声	b		d			
摩擦音	f v	s z			x ɣ	h
鼻音	m		n	ɲ	ŋ	
流音			l			

介母音

唇音	w
----	---

母音

	前	中	後
二重	iə	uə	uə
閉	i:	u:	u:
半閉	e:	ɤ:	o:
半開	ɛ:	ʌ	ɔ:
開		a: / a	

音節末子音

	唇音	歯音	硬口蓋音	軟口蓋音	唇音化軟口蓋音
鼻音	m	n	[ŋ]	ŋ	[ŋm]
閉鎖音	p	t	[k]	k	[kp]
半母音	w		j		

声調

1	ma	ma:˧	level
2	mà	ma:˨	mid falling
3	mả	ma:˨˨	low falling
4	mã	mã:˨˨	broken
5	má	ma:˧˧	rising
6	mạ	mạ:˨˨	low glottalized
7	mát	ma:t˧	rising checked
8	mạt	ma:t˨	low checked

付録2 ハノイ方言の声調

